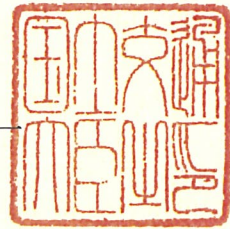


認 定 書

国 住 指 第 3 7 2 4 号
平成 29 年 3 月 1 日

シーシーアイ株式会社
代表取締役社長 岡部 修二 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0901
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
2. 寸法等の仕様：
寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ152mm以下)
	面積	0.0182m ² 以下
占積率 (開口面積に対する被覆材付配管の断面積の割合)		94.4%以下
被覆材付配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		2.0～10.5mm
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第129条の2の3第1項第一号ロの規定に基づく準耐火構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分)厚さ139mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
被覆材 (図2参照)		材料	非公開
		使用箇所	
		処理方法	
	表面材	材料	
		厚さ	
	樹脂シート	材料	
		組成 (質量%)	
		密度	
		厚さ	
	基材	材料	
		密度	
		厚さ	
充てん材	材料	建築用シーリング材 (JIS A 5758) 種類：シリコーン系	
	充てん量	壁と配管との隙間に密に充てん (壁の両側から充てん：片側あたり幅16mm以上) し、開口部から壁側・配管側に5mm以上外盛りする	

表3 配管の仕様

項 目		仕 様	
配管	材料	種類：①、②又は③ ①硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741、記号：VU、VP) ②水道用硬質塩化ビニル管 (JIS K 6742、記号：VP) ③耐熱性硬質塩化ビニル管 (JIS K 6776、記号：HT)	
	外径	φ18～114mm	
	厚さ	VUの場合 1.8～3.1mm VPの場合 2.2～7.1mm HTの場合 2.5～7.1mm	

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項 目		仕 様	
ジョイントテープ	材料	非公開	
	組成 (質量%)		
	厚さ		
	寸法		

5. 構造説明図：

構造説明図を図1及び図2に示す。

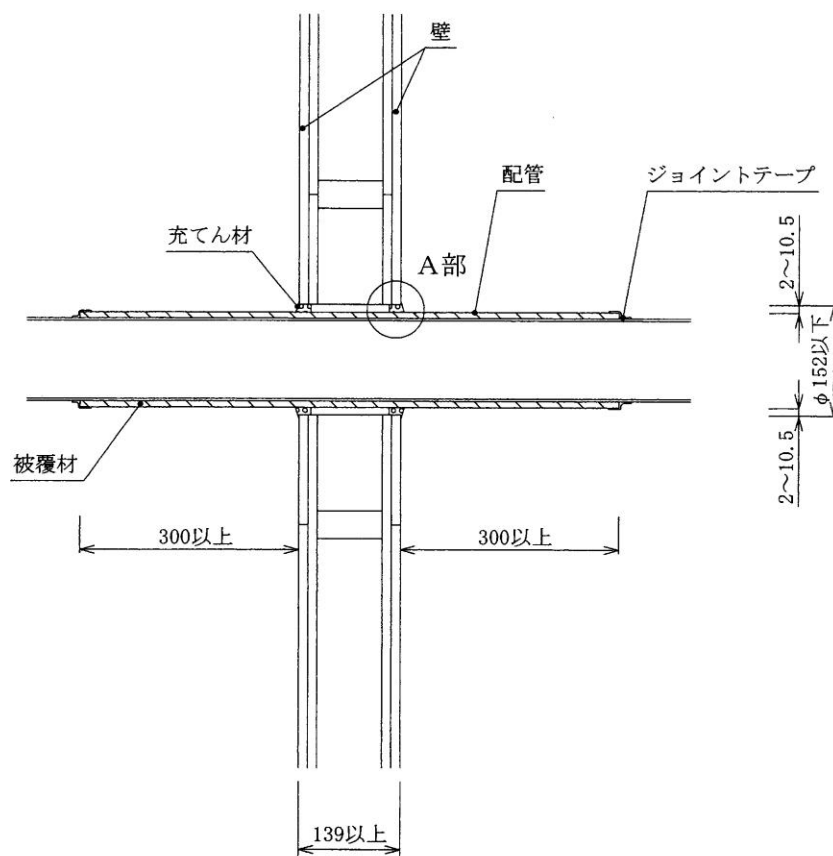
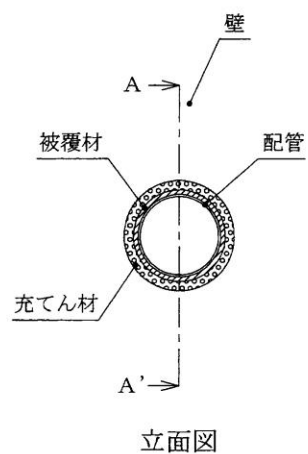
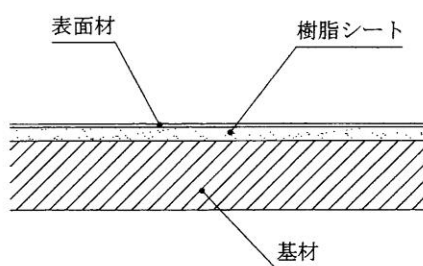
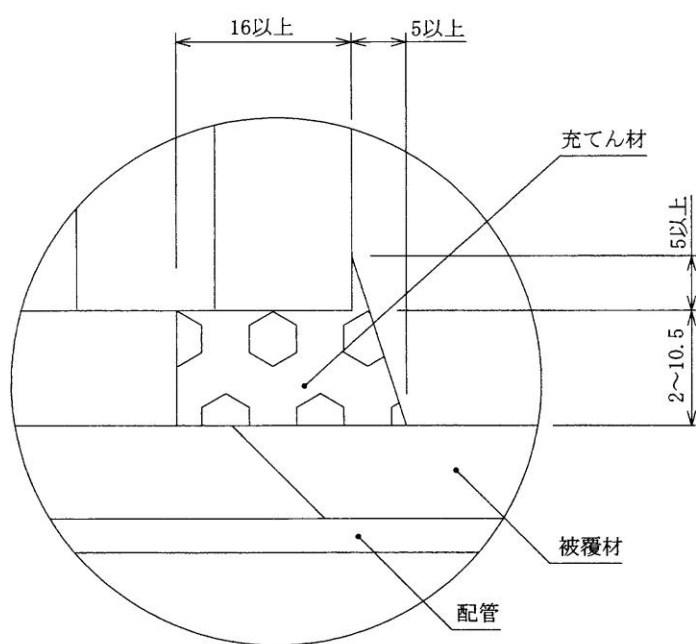


図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



被覆材詳細



A部詳細図

図2 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- ①被覆材付配管の設置を行い、支持・固定する。その際、被覆材長さは、壁の表裏両面から 300mm 以上であることを確認する。
- ②被覆材の端部はジョイントテープで1周以上覆う。
- ③開口部と被覆材付配管の隙間(壁の両側) 16mm 以上になるように充てん材を入れる。充てん後、開口部から壁側・配管側に 5mm 以上外盛りし、隙間の無いことを確認する。